

プールの環境・緊急時の対応チェックリスト

プールの環境	チェックポイント
設置場所	<ul style="list-style-type: none">□ 日陰になり、風通しがよい□ 地震時、周辺に倒壊の恐れがある物、飛来物の危険がない□ 園の外から子どもたちの姿が見えない
プール本体の安全性	<ul style="list-style-type: none">□ ひび割れ・塗装の剥がれ・部品の劣化がない□ プール内にけがの原因となる突起物などがない□ 排水口の蓋の固定（吸い込み防止措置）ができています□ ビニールプールは日本工業規格（JIS）である
広さ・深さ	<ul style="list-style-type: none">□ 子どもがぶつかり合わない広さがある□ 子どものひざ下ぐらいの深さである
水質・水温	<ul style="list-style-type: none">□ プールの中に虫・落ち葉・小石などが入っていない□ 1度使った水は排水している□ 大型プールはガイドラインに沿って塩素を入れている□ 水温 + 気温 = 50～65℃、水温 ≥ 24℃程度である
プールサイドの材質	<ul style="list-style-type: none">□ 柔らかいゴムマット・人工芝など滑りにくく、転んでもけがをしない物を敷いている
緊急時の対応	
看視体制 (役割分担)	<ul style="list-style-type: none">□ プールの中・プールサイドで何を重点的に看視するか、各担当を決めている
あそぶ時間	<ul style="list-style-type: none">□ 子どもの体力に合わせた時間を設定している
子どものけが・ 体調不良	<ul style="list-style-type: none">□ 保育者が救命救急の講習を受けている□ 園に AED が設置されている
災害時の避難	<ul style="list-style-type: none">□ 当日の天候の確認、空模様の看視をする担当を決めている□ 地震時に備え一時的な避難場所を決めている